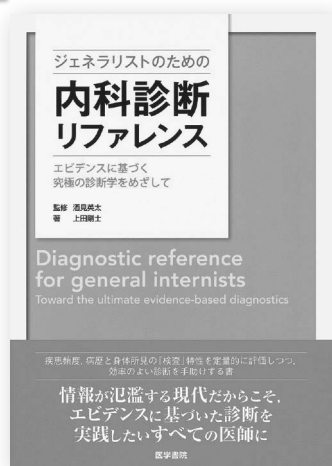


今月の特集関連本 ①



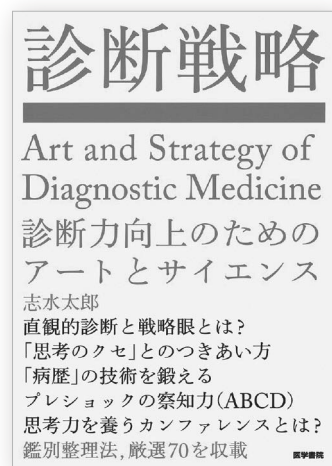
ジェネラリストのための内科診断リファレンス エビデンスに基づく究極の診断学をめざして

酒見英太＝監修

上田剛士＝著

定価 8,800 円／B5 判・736 頁／医学書院／2014

本特集の企画者の 1 人、上田剛士先生 (p.690) による「内科診断学」の名著。疫学→病歴→身体所見→検査という診断学の一連の流れすべてを網羅し、エビデンスに基づいた診断とは何かを追求した。特に病歴・身体所見を深く掘り下げ、リファレンスをあげて「多い／少ない」「大きい／小さい」という抽象的な説明ではなく、極力具体的な数字を示して解説。診断に悩む症例に遭遇した際に、役に立つ。内科診断のみならず、ジェネラリストに求められる整形外科、眼科・耳鼻科なども収載。



診断戦略

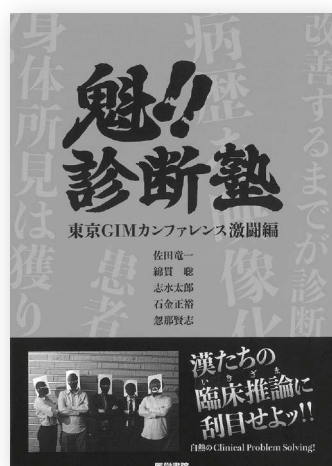
診断力向上のためのアートとサイエンス

志水太郎＝著

定価 3,740 円／A5 判・288 頁／医学書院／2014

本特集の企画者の 1 人、志水太郎先生 (p.690) が「診断」のアートとサイエンスを突きつめた。診断を語るうえで外せない 1 冊。

名医の思考や巧みさ (アート) は再現できるか? その問いに正面から答えた。診断に伴うバイアスとの付き合い方、より病歴をクリアにするための具体的な質問例、鑑別ゴロ合わせなど、明日から役に立つ心がまえとテクニックが満載。認知科学とハードな臨床経験を背景に紡がれる言葉は、まさにアート & サイエンス。



魁!! 診断塾

東京 GIM カンファレンス激闘編

佐田竜一、綿貫 聡、志水太郎、石金正裕、忽那賢志＝著

定価 3,850 円／A5 判・272 頁／医学書院／2017

我らに診断できぬものなし! 東京 GIM カンファレンスで実際に提示された症例を題材に、本特集をご企画の志水太郎先生ら某名作漫画を愛する 5 人の医師が繰り広げる熱い clinical problem solving! 『medicina』誌で好評を博した異色連載を書籍化。喧々諤々の議論と白熱した空間が飛び込んでくるような症例検討の言語化を目指した。